

一本一本丁寧に 「由栗いも」植え付け体験学習

角田小学校の4年生と継立小学校の5、6年生の児童28人が6月8日、由栗いもの植え付け体験を行いました。そらち南さつまいもクラブ協力のもと、植え付け専用の道具「サスケ」を使い700本の苗を約1時間で植えました。児童たちは「苗を斜めに植えるのが難しかった」などと話していました。



食材の大切さを再確認 札幌ベルエポック製菓調理ウエディング専門学校

札幌ベルエポック製菓調理ウエディング専門学校1年生46人が6月7日、町内の農業法人などを訪れました。同校は、町と食の交流事業を毎年実施しており、今回はアスパラやイチゴの栽培・収穫方法や料理・お菓子の食材となる農産物の生育について学び、食材の大切さを再確認する機会となりました。



町の玄関口が花いっぱい 栗山駅前花壇づくり

町内のボランティア団体「チーム夢（ときわ）」が6月3日、駅前の花壇に花の苗を植えました。同会員や地域おこし協力隊など約40人が参加。マリーゴールドやベゴニアなどの花を直径15メートルのロータリーに丁寧に植えました。植栽後には栗山みのり太鼓が演奏を披露し、賑わいを見せていました。



今年も田植えから始まる くりやまキッズクラブ

栗山町だからこそできる体験を行う青少年体験学校「くりやまキッズクラブ」が5月29日、ハサンベツ里山で行われました。今年度第1回目の活動には24人が参加。田んぼに目印を付けた後、4つの班に分かれて田植えを体験し、秋の収穫を心待ちにしながら活動を終わりました。



栗山高校が7年連続受賞 栗山町共同募金委員会表彰式

栗山町共同募金委員会の表彰式が6月13日、総合福祉センター「しゃるる」で行われ、共同募金運動功績者として栗山高校の生徒会へ感謝状が贈られました。同校は町内のスーパーなどで募金活動を実施し、約5万円を同委員会に寄附。募金活動に対する姿勢が評価され、7年連続の受賞となりました。



長年続く奉仕活動 月見草の会

月見草の会が6月8日、くりのさと彩で草取りボランティアを行いました。同団体は長年にわたり奉仕活動を実施しており、当日は会員10人が参加。鍬や熊手を使い慣れた手さばきで約1時間作業を行いました。横岡光子会長は「きれいになった花壇をみて利用者の方が喜んでくれれば」と話していました。



町民へ演舞を披露 くりやまOH!!夢乱咲

第32回YOSAKOIソーラン祭りに出場する「くりやまOH!! 夢乱咲」の出陣式が6月4日、栗山煉瓦創庫くりふとで行われました。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶり22回目の参加。応援に駆け付けた町民の前で新曲「再起昇陽」を披露し、26人の迫力ある踊りに大きな拍手が送られました。



国道234号線を清掃 ごみゼロの日運動

国道234号整備促進期成会が主催する「国道ごみゼロの日運動」が5月30日、国道234号線沿いで行われました。「ごみゼロの日」に合わせて、北海道開発局などの関係機関や国道沿線企業・町内会の協力のもと実施。参加者約100人は、7班に分かれて約4kmの区間を歩きながら清掃しました。

